

あこがれの仕事に就きたくて勉強した、学び始めたら自然に方向転換… 出発点は様々だけれど、資格やお稽古を通じキャリアチェンジした人は、編集部予想以上に多かった。福岡から大阪、名古屋、東京まで、学びで新しい仕事を見つけた人を紹介します



【資格取得にかかったお金・期間】

お金 57万7500円

期間 2年6ヵ月

左は質問に詰まったときに聞くリスニングと質問のCD教材(当時)。関西女性初のマスター・コーチを取得(右)

【キャリアチェンジするまで】

- 00年 33歳 取引先の人からすすめられ、働きながらコーチングを学び始める(財)生涯学習開発財団の認定コーチ取得(148名を参照)
 - 01年 34歳 教育部門から新規事業部へ異動
 - 02年 35歳 異動し社長秘書に。CTP受講を続ける
 - 03年 36歳 退社し独立。認定プロフェッショナル・コーチ取得
 - 04年 37歳 CTP修了。認定マスター・コーチ取得。現在コーチ：アイエヌジー主宰
- 既婚・夫と2人

仕事に役立つから、と始めた学びがキャリアチェンジにつながった奥山幸子さん。「以前は、人材派遣会社の教育部門の管理職でした。そこで、勘と経験、根性(笑)のマネジメントがなかなかうまくいなくて…。コミュニケーション能力、マネジメント能力をアップしなければと考えたんです」。知人からコーチングの存在を聞き、人脈も広がりそう…と学び始めたという。

でも、仕事と勉強の両立は大変だった。「朝は7時から、夜も22時から授業を受けたことも度々」。そんなフレキシブルな学びができたのは、電話会議システムを採用する講座を選んでいいたから。「対面式ではないから、最初は不安だったんです。フェイス・トゥ・フェイスを重んじる関西人ですから、「ほんまに電話でできんの?」という疑念はありましたし。けれど、学べる時間を冷静に判断して、時間が節約できるクラスだと思い選んだ。いま振り返ってもこの選択は正しかったと思います」。結局、2年半かけて36課程を修了。関西女性初のマスター・コーチ(実習500時間以上、クライアント数50人以上という条件)も取得。社内で社長秘書職に異動になり、「自分でやりたいことをやる人生を歩みたいと思った」から退社した。現在は、コーチング研修や個別コーチを請け負うプロのビジネスコーチだ。

コーチングにおいて、コーチとクライアントは対等な立場。「共に学び、成長できる醍醐味があって、いまはそれが楽しい」。コーチスキルの向上を目指し「来年は米国へ研修に行く予定」と目を輝かせた。



社長秘書 ▶ **ビジネスコーチ**

in 大阪 **奥山幸子**さん(37歳)

**キャリアを生かせる資格を取って
コーチングのプロとして独立!**